

# リノベーション 上手な兵庫へ。

武家屋敷、町家、小学校、工場、倉庫…古い建物には、大切に守りたい趣きや文化が。そんな懐かしい佇まいを残しつつも、今の時代に新しいセンスでリノベーション。お店や情報基地として命を吹き込まれた空間は時を重ねた温もりがあり、幾度も訪れたい魅力がある。



工場を  
“カフェ&パラダイス”に

## 丹波篠山

〈お茶が飲める図書館〉をイメージした空間には約1,000冊の雑誌がズラリ。窓も昔のまま。やわらかな光が入り、居心地が良い。窓際は一人客の特等席。

少し前まで稼働していた気配が漂う丹波の工場跡を、カフェとイベントスペースに。篠山の小学校は、地元の人々がもてなすカフェとマルシェに。古い建物を改修し、町を活性化してきた丹波篠山の動きは、城下町を中心にした市や町ぐるみのもから、より郊外へ。地域や個人の手により建物を再生させたお店が各所で人気を呼んでいる。初めて行ったのになぜか懐かしい気分、ずっと居たくなる、また行きたくなる。心に残るリノベーション空間へ。

※価格は8月20日現在のものです。基本は税込表記ですが、詳細は各店でお確かめください。



クロックムッシュ900円。柏原町「よしだ屋」の天然酵母パン、水戸町「バイエリッシャ」のロースハム、酒粕と白みそのホワイトソース。有機野菜のサラスープも。



職員室をカフェに

お母さんたちお手製のくもべ定食には、地野菜がたっぷり。取材日は鶏の紅茶煮、新玉の酢みそあえ、黒豆みそのみそ汁など。1品1品手が込んだ優しい味。800円(ドリンク付き1,000円)、なくなり次第終了。



校長室をマルシェに

### 里山工房くもべ | 篠山市

篠山・雲部地区の人達が、閉校した[雲部小学校]を力を合わせて再生。元職員室のカフェは、地元のお母さんたちがつくる定食が自慢。校長室は旬の味覚が並ぶマルシェに変身。「イベントスペースや作家の発表の場など、空き教室の活用も検討中です」とくもべまちづくり協議会]会長の梶谷郁雄さん。さらなる進化も楽しみ。



2階建ての校舎は階段、廊下、音楽室や理科室も懐かしい。校内の見学もわくわく。



▷篠山市西本荘西ノ山2-1  
☎079-556-2570  
午前11時～午後3時30分(ランチのラストオーダーは午後2時) 火・水・木曜日  
④40台 道案内/電車→JR福知山線篠山駅から神姫バス、篠山営業所下車。タクシーに乗り換え約15分 車→舞鶴若狭自動車道丹南篠山ICから県道306号線、県道702号線を経て北東へ約30分



江戸時代創業の[山名酒造]敷地内に今年6月オープン。店の屋号はもとの会社名から。建物の4分の1を区切ってカフェに。残りはイベント時のスペース(パラダイス)に。11月は企画展とライブを予定。



▷丹波市市島町上田210  
☎080-9478-6954  
午前11時～午後5時(ラストオーダー) 火・水・木曜日(祝日は営業) ⑩10台 道案内/電車→JR福知山線市島駅から東へ徒歩約10分 車→舞鶴若狭自動車道春日ICから県道175号線を経て北東へ約10分

### ロック製作所

ロックせいさくしよ | 丹波市

「都会ではなく田舎で地元の食材を使ったカフェ」と店主の瀬畑佐智さん。40年間プロパンガスの調整器を造る工場だった空間は、リメイクされた調度品がなじみ、大人の秘密基地のようなかつこ良さ。お薦めは[山名酒造]の酒粕をホワイトソースに使うクロックムッシュ、自家製ケーキ、日本酒カクテル。本や雑誌を片手にのんびりが似合う。

閉校となった小学校をマルシェや地産地消のレストランなどに改修した淡路市の「のじまスコアラ」は、年間10万人が訪れる人気の施設。今年7月、その

# 淡路島

すぐ近くの企業の保養所に手を加えて、姉妹店が誕生。健康をテーマに島の食材やハチミツを使った料理やスイーツが楽しめるカフェ「ミエレ」だ。目の前が青い海！のロケーションもステキ。



保養所を海カフェに

潮風に吹かれ、空を映して色を変える海を眺めて気分爽快に！日が沈む頃、ロマンチックな夕景を大パノラマで楽しむことも。

## miele ミエレ | 淡路市

白い外観が目立つ建物は1階がカフェ、2階では島の陶芸家の器や「のじまスコアラ」でもおなじみの調味料、お土産を販売。海が一望できるオープンテラスでいただくメニューは、ハチミツ入りの淡路牛カレーやワッフルが人気。自家製のワッフルやかき氷などのデザートは、島内産中心の13種類のハチミツから好みでトッピングしても。



直径15cmのバテが迫力大！の淡路牛プレミアムバター(1950円)長さ35cmのフルコギチーズトック(1350円)はシテテして、しっとり焼き上げたハラハートワッフル580円。



淡路市野島壘浦785-9 ☎0799-80-2600 午前10時30分～午後7時(土・日・祝は午後7時30分まで。ラストオーダー) 火曜休 ◎11台 道案内/電車→JR神戸線・山陽電車明石駅から明石港へ。淡路ジェノバライン岩屋港下船。無料シャトルバス約15分(のじまスコアラまで。土・日・祝のみ) 車→神戸淡路鳴門自動車道淡路ICから県道31号線を経て約15分



# 塩屋

海も山も近い塩屋は外国人別荘地として栄えた地。瀟洒な洋館もあれば昭和な商店街も。細い路地を歩けば町が守られてきたことを実感。そんな塩屋の情報基地として、神戸市の空き店舗活用プロジェクトで昨年誕生したのがこちら。もと眼科だった空間にはかつてを懐かしむ人、作品展目的の人、さまざまな人が訪れ、思いを結ぶ。



大きな黒板のあるカフェは、診療スペースの間仕切りをとったもの。ワークショップも行う。受付や待ち合い室はギャラリーと情報発信の空間に。



診療所を情報基地に

## しおやと、| 垂水区

「しおやと、みんながつながるトコロ」がコンセプト。町を見下ろす大きな窓のある部屋をカフェに。塩屋在住アーティストの作品展をしたり、音楽家のCDや手づくり石けんの販売も。「のんびりお茶をするだけでも気軽に」と店主の小金丸千秋さん。歴史ある町、成熟した文化、心に響くアート。多面的な魅力を持つ塩屋を知る手掛かりに。



塩屋在住でデザイナーの小金丸さん。「塩屋は開発されずに残ったエアポケットのような町。ある意味不便ですが、そこが今の時代には貴重です」と魅力を語る。旬のフルーツを使ったお手製の酵素ジュース500円。ソーダ割り550円。



神戸市垂水区塩屋町3-14-25 ☎078-751-7877 午前10時～午後8時 月曜(祝日の場合翌日)休 ◎なし 道案内/電車→JR神戸線・山陽電車塩屋駅から北へ徒歩約5分 車→国道2号線塩屋交差点から北へ約3分(周辺駐車禁止) イベントなどはhttp://www.shioyato.comで確認

# リノベーションと古いもの。



ベんキのかすれた木造の外観、切手が買えた事務カウンター。町の寄り合いの場だった頃の温かさが感じられる建物に「つるぎ、いつまでも居たくなる。」



写真上は、北欧家具をセンスよく配した2階のカフェ。イスや食器に触れて使い心地を。下は1階、ダイニングセットやチェストなど表情豊かな家具に目移り。



建物の歴史や空気感を生かして、再生され動き出したムードたっぷり空間は、同じく時を重ねて魅力を増したヴィンテージやアンティークとの出合いの場によく似合う。大切に使い、伝えたい魅力に触れて、時間を忘れて夢中になりそう。



季節のプレートランチは、信楽の作家・大谷哲也さんの趣ある器で。スープ付き1,100円(ドリンク付き1,400円)。別棟の[リズム]は海外のアンティークや雑貨の販売、ライブなどを行えるステージも。



▷篠山市今田町下小野原3-7  
☎079-506-3101  
午前11時30分～午後6時(ランチはなくなり次第終了) 火・水・木曜休、臨時休あり ◎10台 道案内/電車→JR福知山線相野駅から神姫バス、今田学校下車徒歩約3分(本数少) 車→舞鶴若狹自動車道三田西ICから県道141号線を経て北へ約20分

## コリシモ | 篠山市

築約70年、篠山・今田町の集落でかつて電話の交換台としても親しまれた旧郵便局舎。アンティークを愛するオーナーと出会い、「古いままでリノベーションを」と心を込めて改装された。1階がカフェ、2階のギャラリーではヨーロッパの古道具の展示や、写真展などのイベントを。近くには旧米蔵を改装したギャラリー「リズム」もオープンし、目が離せないアートの発信基地に。

## 北の椅子ときたのいすと | 兵庫区

兵庫運河で戦前から続く製材所を生かした広大な空間。服部さん夫妻がデンマークで買付けた'50~'60年代のヴィンテージ家具が並ぶ光景は圧巻だ。「例えばイスなら1脚あるだけで、部屋が温かな雰囲気になるもの。使いやすくてメンテナンスを」と奥さんの真貴さん。2階は北欧食器や雑貨がそろったコーナーと喫茶スペースが。休憩を挟んでじっくり品定めを。



オープンは昨年5月。北欧食器はスーホルム、イェンス・ウィストガードなど、日本の民芸に通じる味わい深さが魅力。カフェでは5種類の野菜と鶏ひき肉のカレーランチなど。820円(サラダ、飲み物付き)。菜種油やてんさい糖など体に優しい素材を使う自家製スイーツも人気。



▷神戸市兵庫区材木町1-3  
☎078-203-4251  
午前11時～午後6時(喫茶はラストオーダー午後4時) 水・土曜休、臨時休あり ◎10台 道案内/電車→地下鉄海岸線和田岬駅から北西へ徒歩約7分 車→阪神高速神戸線柳原出口から南へ約3分



## 蕎麦と料理 和さび

わさび | 丹波市

懐石料理店などで20年以上経験を積んだ藤田勇さんの、手打ちそばと和食の店。「おいしいそばが食べられる店を」と地元から要望をいただいて、築150年の武家屋敷跡に開店。1カ月熟成させた本返しでつくるつゆはまろやかでコクがあり、爽やかなそばの風味を引き立てる。和食で培われた華麗な技と料理を。



先付、前菜、お浸、天ぷら、そば、デザート  
のコース、ランチ竹、2,500円。予約を。



▷丹波市柏原町柏原574-2  
☎0795-72-0028  
午前11時～午後2時30分、午後5時～午後8時30分(いずれもラストオーダー)  
火曜休 ⑧台 道案内/JR福知山線柏原駅から北東へ徒歩約3分 車→舞鶴若狭自動車道春日ICから国道175号線で南西へ約15分



織田家ゆかりの城下町・柏原で江戸期の姿をほぼ完全に残す貴重な武家屋敷跡。書院造の座敷、土塀や中庭など、もともと和の風情を生かしてリノベーション。



昔からあった長持ちやすまに和む空間。「引退してゆっくりしよう」と祖母の家を改修。存外雰囲気良くてお店にしちゃいました」と奥さま。

## やさい厨房 邑居

ゆききよ | 朝来市

奈良で40年洋食店を営んだ鴨谷正輝さんが、奥さまの故郷である但馬に移住。築約90年の自宅を改修して「田舎のおばあちゃんの家を訪れるような」レストランをオープン。「岩津の水で育った食材は本当においしい」と減農薬野菜のサラダや自家製ピクルス、但馬牛の煮込みなど地元食材にこだわった料理が好評。



弱火で炊いて旨みを閉じ込め、やわらかく仕上げた牛肉の赤ワイン煮込み。本日のスープ、サラダ、ピクルス、与布土産コシヒカリのご飯とドリンク付き2,500円。予約がベター。



▷朝来市岩津186  
☎079-678-1716  
午前11時30分～午後2時(ラストオーダー) 火曜休 ※予約優先 ⑨台 道案内/電車→JR播但線新井駅からタクシー約5分 車→播但連絡道朝来ICから国道312号線を南へ約5分。朝来SA付近で左へ



## 和空間に似合う、もてなしのそば。

## 峡洛 きょうらく | 東灘区

阪神御影駅近く。細い路地奥に佇む昭和31年築の平屋に手を加え、そば処を開いた森岡功さん。「もとは医科大学学長の邸宅。古めかしい感じが好きで、なるべく雰囲気を残して改修」。メニューによって4種のそばを使い分け、看板の(峡洛せいろ)は蒸した温かい麺が珍しい。建物の風情がそばの魅力を高める。

路地をどんどん進んだ先。「こんな場所にそば処が!」と隠れ家を見つけた気分。



峡洛せいろ880円。香りが立つように蒸した温かい麺を冷たいつゆで。鴨つけめん1,460円もお薦め。午後は紅茶を食後に。



▷神戸市東灘区御影中町1-17-9  
☎078-200-4500  
午前11時～午後6時 火曜休 ⑥なし 道案内/電車→阪神御影駅から北へ徒歩約3分 車→阪神高速神戸線魚崎出口から北西へ約5分

## 古民家で洋食を、スイーツを。



地元の[山陽壺酒造]の大吟醸を使う酒粕シフォンケーキは豊かな香り。クセがなく食べやすい。セットで600円。ランチは予約を。

江戸時代からの山崎藩城下町の名残を感じる町並み。周囲には今も造り酒屋が並び、散策も楽しい。

## 町家cafe&ギャラリー さんしょう | 宍粟市

築170年の町家は、県の景観形成重要建造物にも指定された、もと造り酒屋だった建物。靴を脱いで座敷に上がると、昔から使われていた水屋やタンス、レコード盤に書かれたメニュー、格子越しの優しい光。何を見ても心癒やされ、ノスタルジックな趣にほっこり包まれる。ギャラリーでは地元作家などの作品を展示販売。



▷宍粟市山崎町山崎50  
☎0790-62-0039  
午前10時～午後5時頃 第1・3日・月曜連休 ⑥6台 道案内/電車→JR神戸線・山陽電車姫路駅から神姫バス、山崎営業所下車。北西へ徒歩約10分 車→中国自動車道山崎ICから北西へ約5分

# 古民家とそばと、村づくりも。

丹波・市島町の手打ちそば店「そばんち」の佐藤勉さんの呼びかけで、「奥丹波にそば街道をつくらう」と2008年に結成された「奥丹波蕎麦人会」。賛同店は8軒となり、そば好きを喜ばせている。次なる取り組みは、なんと村づくり。〈村民〉に登録した人びとが、周辺の畑仕事や家の改修などに携われる。その中核となる築100年の古民家を改修して、「そばんち北奥」が4月にオープン。「いずればそば打ち体験や宿泊も」と店主の日野智人さん。夢は膨らむ。

## そばんち北奥

そばんちきたおく | 丹波市

[そばんち]で修業をした日野さんが、柏原の日本料理店で長年培った経験を生かし、腕をふるう。予算は応相談。例えば2,000円のコースなら前菜、創作そば、揚げ物、十割そば、水物。「挽きたて打ちたてはおいしさが違います。野菜はすべてを畑でまかなえるように頑張っています」。田舎に帰ったようなくつろぎ感もうれしい。



太い梁のある母屋には庭を臨む和室が2部屋。広々とした空間でゆったりそばを。納屋や蔵も改修中。写真は2,000円のコースから。十割そばは透明感があり風味豊か。ある夏の日の創作そばは、大葉を練り込んだ平麺にトマトやオリーブ油でアレンジ。そばの実のリゾットやガレットが登場することも。畑の野菜のかけ揚げはトウモロコシ、枝豆など。



▷丹波市市島町北奥997  
☎0795-85-0234  
午前11時～午後4時、午後5時～午後9時 ※2日前までに要予約  
火・第3土曜休 ⑥6台 道案内/電車→JR福知山線市島駅からタクシー約15分 車→舞鶴若狭自動車道春日ICから国道175号線で南西へ約15分